

第2部

基本計画



使命 1

支え合う福祉

(住民参加と福祉コミュニティづくりの推進)

振り返ると どこまでも高い茨城の青空
ああ この子らの未来に幸せを手渡したい

県社協の願いは300万県民⁺の幸せ
だから 多くの彩りを輝かせるために 私たちは日々活動する

人はつながってこそ幸せになれると信じている
だから 家族をつなげ 地域でつながり 同じ想いをつなげなければ……

3月11日 その日私たちは 大きな衝撃と混乱の中にあった
そして 人はひとりで生きられないことに気づく
人の優しさに気づく
自分の中の優しさに気づく
多くの気づきと想いを伝えたい
さあ みんなで優しさを育てよう

この街で出会った人たちと幸せになりたいと思った
お金や物にしばられない生き方を望む
自分の想いをつなげたい
みんなの想いをつなげたい
新たな縁を生み続けたい
私が私であるように 私が必要とされるなら
あなたがあなたであるように 多くの想いと知恵を伝えたい

だから県社協は歩み続ける……

約束1 福祉の大切さを伝える

挑戦 1 みんなの地域をみんなで作る

挑戦 2 知ってもらう第1歩

挑戦 3 思いやりの心を育てる

約束2 福祉の大切さに気づいた人を支える・つなげる

挑戦 4 ボランティア・市民活動を支える・つなげる

挑戦 5 高齢者自ら支える

挑戦 6 新たな担い手を育てる・つなげる



約束1 福祉の大切さを伝える

人は、一人では生きにくく、人とのつながりや誰かの支えを必要としています。私たちは、平成23年3月11日に起きた未曾有の大災害で、住民同士のつながりや支え合いの大切さを改めて知らされました。無意識のうちに人と人が支え合い、「しあわせ」を感じられる社会…それを多くの人が望んでいます。県社協は「はんどちゃんネットワーク運動」などを通じて、そのような支え合いの仕組みを社会に広めています。県社協は、受け手がわかりやすい情報の提供や学校、家庭及び地域が一体となって思いやりの心を育てる取り組みなどを通じてこれまで以上に福祉の大切さを伝えていきます。



みんなの地域をみんなでつくる

県社協は、県民一人ひとりの持つ力を地域の重要な力として捉えています。その力をつないだ地域のネットワークは、支え合う福祉の基本になるものであり、住民主体の縁づくりを推進することにより、支え合う大切さとつながる楽しさを伝えます。

- ・【新】「絆」づくり市町村社協チャレンジ応援モデル指定事業の実施
- ・はんどちゃんネットワーク運動による住民参加の促進



思いやりの心を育てる

学校、家庭及び地域が協力し合うことで、自分だけではなく、周りの人や地域に思いを巡らす心が育まれます。県社協は、体験の機会などを通じて支え合いや思いやりの心を育む活動に努めます。

- ・福祉教育推進セミナーの開催
- ・福祉教育協力学区指定事業の推進
- ・福祉体験機材等の貸し出し及び整備・充実
- ・義務教育教員免許志願者介護等体験受入調整事業の実施



知ってもらう第1歩

福祉を基本とした地域づくりの大切さを伝えることは、県社協の大事な役割です。県社協は、県民が必要とする情報を多様な手段で収集し、適切にわかりやすく提供します。

- ・ボランティア活動に関する情報収集及び提供
- ・ホームページの運用
- ・茨城県社会福祉大会の開催
- ・広報誌「いばらきの社会福祉」の発行
- ・茨城県総合福祉会館の運営・管理 など



広報誌「いばらきの社会福祉」



イベントで活躍するはんどちゃん着ぐるみ



高齢者疑似体験

約束2 福祉の大切さに気づいた人を支える・つなげる

日々の暮らしであまり意識することはありませんが、私たち一人ひとりとはみんな地域の一員です。自分自身が幸せになることが地域の幸せになり、ひいては県全体の幸せにつながります。

県社協は、そのことに気づいた人の思いを実現する後押しをしていきます。

また、県民一人ひとりがいつまでも生きがいをもち、健康に暮らし続けられるよう、高齢者のスポーツや文化活動などを支援します。



ボランティア・市民活動を支える・つなげる

福祉の大切さに気づいた人たちは、その思いをボランティア・市民活動という形に変え、地域に貢献しています。

しかし、福祉の大切さに気づいても、それを形にすることができない人もいます。

そうした人の思いを地域の活動に結びつける取り組みも、県社協の大切な役割です。

特に市民活動は、年々その数の増加とともに多様化し、それぞれの地域での役割・意義が大変大きくなっています。

県社協は、ボランティア活動はもちろんのこと、そうした市民活動を支援するとともに、個々の活動をつなげ、ネットワークの構築に努めます。

- ・ボランティアセンター運営委員会
- ・ボランティア基金の運営管理
- ・善意金品の預託と払い出し
- ・地域福祉活動に取り組むボランティア・NPO等の支援と連携
- ・ボランティア基金利息等を活用した助成支援 など



わくわく元気アップ講座(総合講座)



茨城県総合防災訓練へ参加するボランティア



高齢者自ら支える

少子高齢化が進む中、元気な高齢者が地域において果たす役割は大きく、それぞれがこれまでの経験から培ってきた能力には期待が寄せられています。

また、高齢者が積極的にスポーツや文化活動などをおして社会に参加し、生きがいをもって生活を送ることは、自身の健康を維持することにもつながります。

県社協は、高齢者の生きがい・健康づくりを推進し、高齢者も住み慣れた地域で支え合う一員となるよう支援に努めます。

- ・いばらきねりんスポーツ大会・交流大会の開催
- ・ニュースポーツの普及推進
- ・元気シニア地域貢献事業の実施
- ・高齢者はつらつ百人委員会活動への支援
- ・わくわく元気アップ講座の開催 など



新たな担い手を育てる・つなげる

県民誰もが福祉の大切さを知り、地域の一員であることを意識して生活することは、全県民の幸せにつながります。

また、県民が持つ様々な力を活かした活動は、地域の力を強めます。

県社協は、県民誰もが自身の能力・役割に気づき、地域のニーズに応じて活躍できるよう、きっかけづくり、場づくり、仲間づくりの支援に努めます。

- ・小地域福祉活動セミナーの開催
- ・ボランティア養成事業の支援
- ・ボランティア・市民活動フェスティバルの開催
- ・茨城県総合防災訓練への参加 など

挑戦
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

使命2

安心して 利用できる福祉

(福祉サービス利用者への支援)

話してみて気づいた 独りじゃないことに
困り 悩んだときに 寄り添い聞いてくれる人がいることに安心する

県社協の願いは300万県民⁺の幸せ
だから 多くの彩りを輝かせるために 私たちは日々活動する

自分の想いを聴いてくれる 伝える相手がいた
笑顔でむかえてくれたその人に 自分の想いを伝えた
自分自身も振り返ってみた 新しい自分が見えてきた

笑顔でむかえてくれたその人が 気づかせてくれた
自分を支えてくれる人がたくさんいる

この地でずっと暮らしていきたい……

いつまでも 自分らしく この地で生きていこう
支えてくれる あなたと
住みなれたこの街でこれからもずっと暮らし続けたいと思う

自分の歩幅 自分のペースで 歩いていきたい
そんな想いを形にしよう
私が私であるように 私が必要とされるなら
あなたがあなたであるように 多くの想いと知恵を伝えたい

だから県社協は歩み続ける……

約束3 その人らしさを引き出し・守る

挑戦7 自立への手助け

挑戦8 利用者の声に耳を傾ける

挑戦9 サービス利用の安心を届ける

約束4 生活困窮者への自立支援

挑戦10 安心した生活を支える

挑戦11 多様な取り組みを通じて寄り添う



約束3 その人らしさを引き出し・守る

県民一人ひとりが安心して豊かに暮らすためには、個人の尊厳や権利が守られることが必要です。県社協は、暮らしの中で課題や不安を抱える人たちに対して、耳を傾け、時には寄り添い、手を差し伸べながらその人らしさを第一に考え、自立を側面から支えます。また、福祉サービスを利用する人たちが、サービスを適切に利用できるよう援助し、県民一人ひとりの暮らしの安心を支えます。



自立への手助け

県社協は、福祉サービス利用援助など各種制度を通じて、その利用者の自立を支援します。そして住み慣れた地域や場所で、安心を実感しながらその人らしく暮らし続けられるように支援します。また、制度の適切な運営と、制度の普及にも努めます。

- ・日常生活自立支援事業の実施



サービス利用の安心を届ける

県社協は、安心した暮らしを守るために、利用者の視点に立ってサービスの評価を行い、サービスの質の向上に努めます。また、評価結果を公表し、サービスを利用する人たちが安心してサービス提供者を選べるよう努めます。

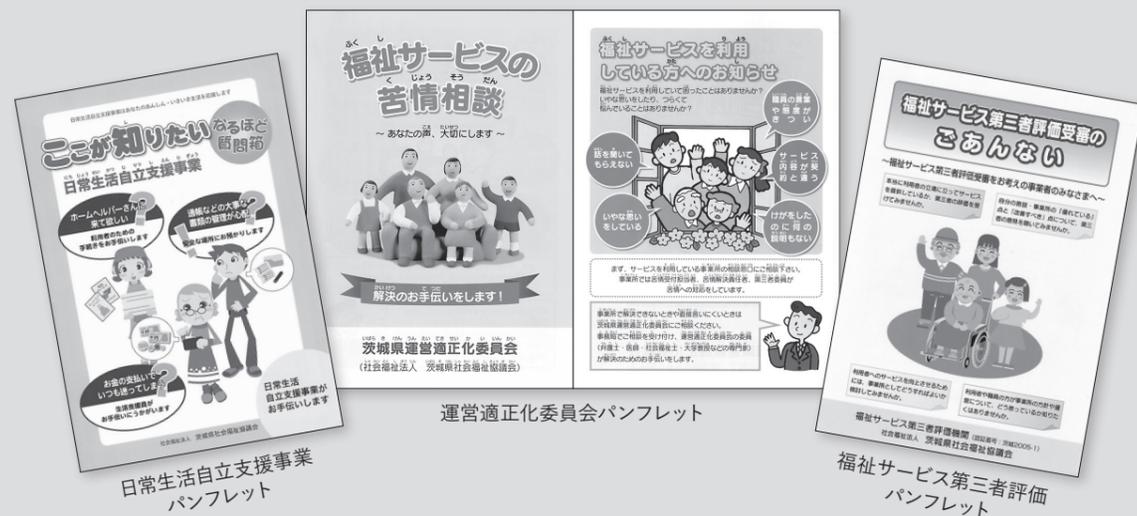
- ・第三者評価事業の推進
- ・外部評価事業の推進



利用者の声に耳を傾ける

県社協は、苦情として寄せられる福祉サービス利用者からの思いを受け止め、気持ちに寄り添った解決の糸口を一緒に探ります。また、寄せられた思いをサービス提供者（社会福祉施設や事業所など）に伝えることで、双方の気持ちの橋渡しも行います。これらを踏まえ、利用者が安心してサービスを受けられる体制の整備が図られるよう、制度の普及・促進に努めます。

- ・運営適正化委員会の円滑な実施
- ・苦情解決制度の普及促進



運営適正化委員会パンフレット

日常生活自立支援事業パンフレット

福祉サービス第三者評価パンフレット

約束4 生活困窮者への自立支援

県民が安心して社会生活を送るためには、心身の健康はもちろんのことですが、経済的に安定していることが大切です。

県社協は、経済的理由により暮らしに不安や困難を抱えている人に対して、自立した生活に少しでも近づけるよう、地域と連携した対応を図ります。

また、公的制度のみならず、生活困窮者に対する様々な取り組みを結びつけて対応することも、県社協だからこそできる役割の一つとして実践します。



安心して生活を支える

県社協は、県内の暮らしに不安や困難を抱えている人が安心して生活を送れるよう貸付事業に取り組みます。

事業の推進にあたっては、民生委員や市町村社協と協働し、地域全体で見守るための支援のネットワークを大切にします。

そして、貸付から償還まで継続的に関わることで、自立に向けての支援に努めます。

- ・生活福祉資金貸付・運営事業の実施
- ・不良債権調査の実施



多様な取り組みを通じて寄り添う

生活困窮者の自立を支える取り組みは、法律などの公的制度だけでなく、多様な民間力（資源）を活用し支援することが大切です。

県社協は、経済的な不安を軽減し、負の連鎖を断ち切り、自立を支援するための取り組みを支えます。

また、関係する制度へのコーディネートや関係する団体などとのネットワークづくりにも努めます。

- ・【新】低所得世帯児童・生徒への学習支援



生活福祉資金貸付制度パンフレット



生活福祉資金担当者研修会



低所得者世帯児童・生徒への学習支援の検討

使命 3

質の高い福祉と協働する福祉

(社会福祉事業の充実・活性化への支援)

振り返ると 幼いころ思い描いていた自分の姿があった
人がひととして あたりまえに暮らせる 幸せづくり

県社協の願いは300万県民⁺の幸せ

だから 多くの彩りを輝かせるために 私たちは日々活動する

福祉は人を幸せにする仕事 人の暮らしを支える仕事

人の喜びを自分の喜びにできる仕事

福祉の仕事の魅力を多くの人に伝えたい

そしてこれからの社会を支えていく 仲間となってもらいたい

小さなころに思い描いた

大きくなった自分とは少し違っても 自分が目指したことは変わらない

望んだ道を歩いていきたい

そんな声に耳を傾け 背中を押して 一緒に歩いて行こう

あきらめずに がんばろう

新しい仲間とともに 今まで以上のコトができる

私が私であるように 私が必要とされるなら

あなたがあなたであるように 多くの想いと知恵を伝えたい

だから県社協は歩み続ける……

約束5 福祉を支える人を増やし・資質を高める

挑戦12 福祉人材を確保し定着させる

挑戦13 福祉人材を育成する

約束6 関係機関・団体等と支え合い共に進む

挑戦14 市町村社協と共に考え共に進む

挑戦15 施設・事業所を支え共に進む

挑戦16 団体とつながり共に進む

挑戦17 新たに関わり共に進む

約束5 福祉を支える人を増やし・資質を高める

少子高齢化が進む中、社会では福祉サービスに対する期待が高まっている一方、社会福祉施設・事業所では慢性的な人材不足が深刻化しています。

県社協は、社会福祉施設・事業所が安定した、質の高いサービスを提供できるよう、福祉人材の確保と定着に取り組みます。さらに、福祉の専門職としてのスキルを一層高め、多様化するニーズに対応できるよう福祉人材の育成に取り組みます。



福祉人材を確保し定着させる

福祉人材の安定した供給を図り、福祉サービスの質を確保するためには、福祉人材の掘り起しや養成とともに、働きやすい環境を整えていくことも必要です。

県社協は、福祉人材の確保・定着にあたって、福祉の職場を知ってもらう機会の創設などにより、雇用のミスマッチを減らします。

また、職場環境が魅力あるものとなるよう社会福祉施設・事業所の支援に努めます。

- ・茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度の充実
- ・マッチング支援体制の整備・充実
- ・就職面接会・就職相談会等の開催
- ・介護支援専門員実務研修受講試験実施事業の実施
- ・介護支援専門員実務研修事業の実施 など



福祉人材を育成する

福祉職場における人材の確保・定着と育成とは切り離せない関係にあります。職員のスキルアップにより、サービスの質や働く意欲の向上につながることを期待できるからです。

県社協は、社会情勢や福祉制度の変化に合わせ、基礎的なものから専門的なものまで、体系的に研修事業を実施し、社会福祉従事者の資質向上を図り、福祉人材の育成に努めます。

- ・【新】地域福祉活動実践事例集の作成
- ・社会福祉従事者研修事業の推進



ふくし職働「介護入門」



福祉の就職総合フェア



社会福祉従事者研修

約束6 関係機関・団体等と支え合い共に歩む

県社協は、市町村域を超えた広域で展開される事業について、様々な関係機関や団体などと連携し、協働することが求められています。

国や県の動向を的確に把握し、関係機関・団体などに伝えていくことは、県社協ならではの役割でもあります。

県社協は、県、市町村社協、社会福祉団体、社会福祉施設、事業所などと有機的に連携しながら、県域における質の高い福祉をめざします。



市町村社協と共に考え共に進む

県社協と市町村社協は、住みよい地域づくりのために、共に考え共に進む存在です。地域で安心して暮らしていくために、近年、介護・医療・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められています。県社協は、市町村社協とお互いの役割と機能を共有しあい、協働する関係づくりに努めます。

- ・【新】next (ネクスト) 事業の実施
- ・【新】地域包括ケアシステムの推進強化
- ・市町村社協職員専門講座の開催
- ・市町村地域福祉活動計画及び社協発展強化計画策定の推進
- ・ボランティア担当職員等の養成・支援 など



施設・事業所を支え共に進む

県社協は、福祉サービスの充実を図るため、社会福祉施設・事業所の安定した経営の支援に努めます。

また、県社協は、社会福祉施設、事業所が地域を構成する一員として、その力を地域に開放し、新たな役割を発揮できるよう支援に努めます。

- ・福祉医療機構借入金利子補給事業の継続
- ・経営改善支援事業の実施
- ・社会福祉施設の地域貢献活動への支援



団体とつながり共に進む

県社協は、これまで以上に頼り、頼られる存在として各団体と関係を深めます。また、これら団体を有機的につなぎ、個々がもつ機能をさらに発揮できるよう支援に努めます。

- ・県社協が事務局を担っている又は事務協定等を結んでいる団体の支援



新たに関わり共に進む

県社協は、これまで関わりのなかった、又は関わりの薄かった機関・団体と積極的に関わるにより、双方の活動が広がり、高め合える関係となるよう努めます。

また、従来から関わりのある機関・団体についても、その関わり方に新たな形や視点を加えることにより、多様な活動が図れるよう努めます。

- ・【新】大学との連携協定の締結
- ・【新】生活困窮者への食材提供事業の実施



地域貢献活動支援事業 (銚田市)



第50回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

使命4

切り拓く福祉

(新たな生活課題への対応)

ふと気づいた 小さな種と小さな芽に想いを込めて
笑顔の花を咲かせるまで育てたい
多くの人の心の花を咲かせ続けたい

県社協の願いは300万県民⁺の幸せ
だから 多くの彩りを輝かせるために 私たちは日々活動する

いつも同じ道を歩いているけど
あるとき ゆっくり歩いてみた 立ち止まってみた 振り返ってみた
いつもと違った景色……

山が緑をまとい 海が太陽をキラキラと映し
稲穂が黄金色に輝き 滝が白く凍る
私は歩きだした もっと違う景色を探して
そこには今まで出会ったことのなかった多くの人たちがいた
その時 新たな仲間を見つけた

仲間と一緒に探した小さな芽
なにが育つか分からない
みんな育ててみよう
私が私であるように 私が必要とされるなら
あなたがあなたであるように 多くの想いと知恵を伝えたい

だから県社協は歩み続ける……

約束7 ニーズに気づき・こたえる

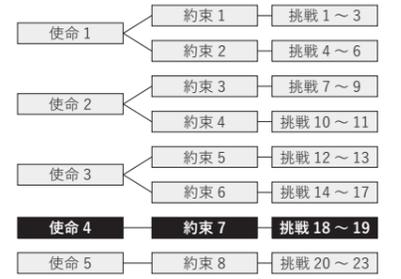
挑戦18 ニーズを把握する

挑戦19 ニーズにこたえる

4

約束7 ニーズに気づき・こたえる

私たちの暮らしにおいては、常に新たな問題・課題が発生しています。
 県社協は、常に社会の変化を敏感に捉え、その問題・課題の中にあるニーズの把握に努めます。
 それらのニーズについて、十分な検討を通じ、県社協としての対応策を講じます。



ニーズを把握する

県社協は、アンテナを高くして視野を広げ、顕在化するニーズはもちろん、潜在化しているニーズにも気づき、目を向け、取り組むべきニーズの把握に努めます。

- ・【新】多様化する生活課題の調査研究活動
- ・志民の学び縁卓会議(福祉教育推進に関する調査研究事業)の実施



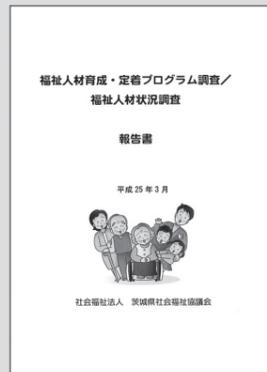
ニーズにこたえる

県社協は、把握したニーズを多角的に捉え、対応策を検討します。
 また、検討結果を踏まえ、県社協が事業化して取り組んだり、関係機関や団体につなげたり提言を行うなど、課題解決に向けた展開に努めます。

- ・【新】成年後見制度の啓発及び利用支援
- ・【新】生活困窮者支援事業の対応促進



知って役立つあったか会話術



福祉人材育成・定着プログラム調査/福祉人材状況調査報告書



志民の学び縁卓会議(福祉教育推進に関する調査研究事業)



貧困問題を考えるシンポジウムへの参加

挑戦
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

使命 5

前進する県社協

(県社協の組織の充実)

走りながら気づいた 走りながら考えた
みんなが応援してくれている

県社協の願いは300万県民⁺の幸せ
だから 多くの彩りを輝かせるために 私たちは日々活動する

たった一步 されど一步
しっかりと前に向かって進むことが何よりも大切だから
走り続けよう その先にみんなが待っていてくれるから

3月11日 あの日をいつまでも忘れない
あの時支えてくれたみんなへの感謝と仲間の絆を心に
私たちは いま 新たな活動に向き合う
その活動はとてつもなく大きく困難なことでも ともに進む

この計画の想いを実現したい みんなの想いをつなげたい 力を合わせたい
この計画に気持ちを込めて
私が私であるように 私が必要とされるなら
あなたがあなたであるように 多くの想いと知恵を伝えたい

だから県社協は歩み続ける……

約束8 歩み続ける県社協

挑戦 20 人が育つ・人を育てる

挑戦 21 しなやかな組織づくり

挑戦 22 必要な財源の確保

挑戦 23 災害時に備えた支援体制づくり

5

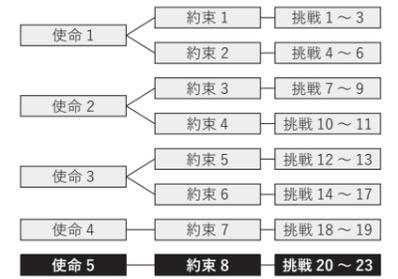
約束 8 歩み続ける県社協

福祉を取り巻く環境は、常に社会の変化と隣り合わせにあります。変化する福祉情勢に対応するためには、それに対応できる組織体制でなければなりません。

また、そのためには、それを支える人（職員）や十分な財源が必要です。

県社協は、変化する社会情勢に対応できる人を育てます。また、歩み続けられるしなやかな組織づくりと、十分な事業展開を行うための財源の確保に努めます。

さらに、東日本大震災を教訓として、災害時における支援体制づくりにも取り組みます。



人が育つ・人を育てる

組織を構成する職員一人ひとりは県社協の事業を進めるうえで、かけがえのない財産です。県社協は、職員が自らの目標を持ち自己実現ができるようOJT(職務を通じての研修)やOFF-JT(職務を離れての研修)を通じて学び続ける環境をつくります。そして職員のやる気と専門性の向上に努めます。

- ・生涯研修の実施
- ・市町村社協職員等との相互交流の実施
- ・職員の自己目標の設定と評価
- ・効果的な運営に向けた職員の意識改革を促す取り組み



しなやかな組織づくり

福祉をとりまく環境は、社会全体の大きなうねりの中にあります。時代の要請にあわせた事業を展開するため、社会の変化に対応できるよう柔軟かつ効率的な組織体制の整備に努めます。また、事業活動の見える化により、県社協への理解を深め、会員の拡大にも努めます。

- ・会員拡大事業の推進
- ・働きやすい職場づくり
- ・理事会・評議員会の充実
- ・効果的な運営体制の整備
- ・横断的な組織による事業の推進 など



必要な財源の確保

事業を確実に実行していくためには、安定した財源を確保することが必須です。県社協は、職員が一丸となり、財源確保と日常業務におけるコスト削減に努めます。

- ・災害時救援活動・地域福祉推進積立金の運用
- ・予算対策活動の充実
- ・事務量及び経費削減の促進
- ・自主財源確保に向けた事務の検討



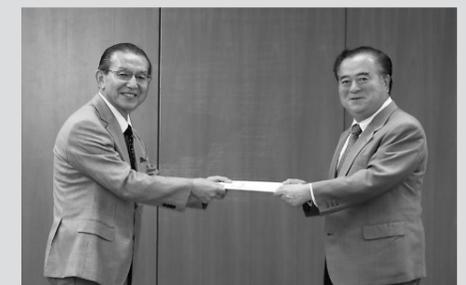
災害時に備えた支援体制づくり

いつ起こるかわからない災害だからこそ、備えが肝心です。県社協は、日頃から災害対応マニュアルの周知・徹底に努めます。また、災害備蓄の整備、防災訓練、関係機関との連携強化などを図り、万一の際の支援体制整備に努めます。

- ・災害対応マニュアルの運用



県社協事務局



社会福祉団体から知事への予算・政策要望書提出